

まちづくりに関するアンケートを実施しました

地域のまちの現状や望ましいまちの将来像について住民の皆様のご意見を把握するため、アンケート調査を実施しました。このアンケート結果は、今後まちづくりの方向性や将来像を検討していく際の参考としていきます。

アンケート調査実施概要

調査期間

令和2年11月16日（水）～30日（月）

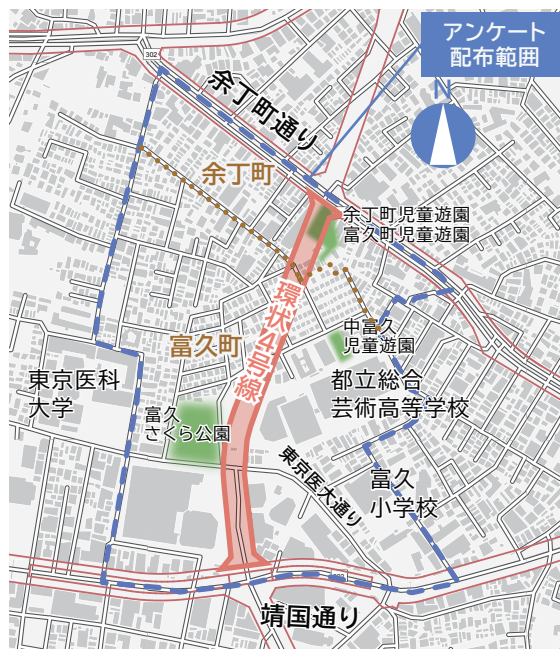
調査対象

右図で示す区域に

- ・お住まいの方
- ・土地、建物を所有されている方

実施方法

地区内にお住まいの方…ポスト投函、郵送回収
地区外にお住まいの方…郵送配付、郵送回収



アンケート結果の概要は次頁へ

今後のまちづくりの予定

今年度開催を予定していた環状4号線沿道部会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言をうけ、開催を見送ることとなりました。また、富久公園について、新宿区は東京都と協議を継続しています。次回沿道部会については、協議状況等を見極めて開催します。



アンケートの結果をお知らせします

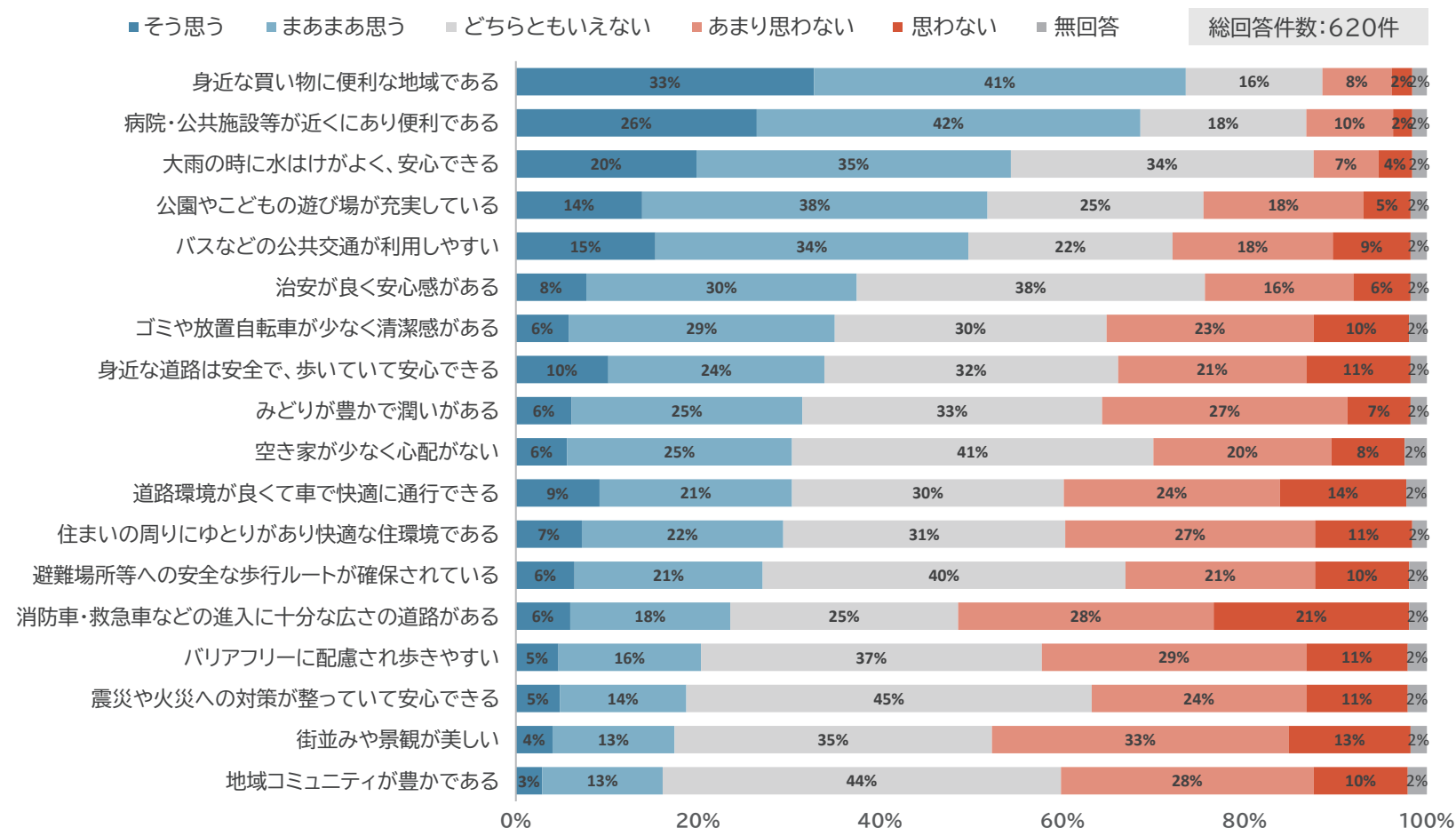
地区内にお住まいの方、地区内に土地・建物を所有されている方のうち、約15.6%の方からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

配布件数
3,975件

総回答件数
620件

回答率
15.6%

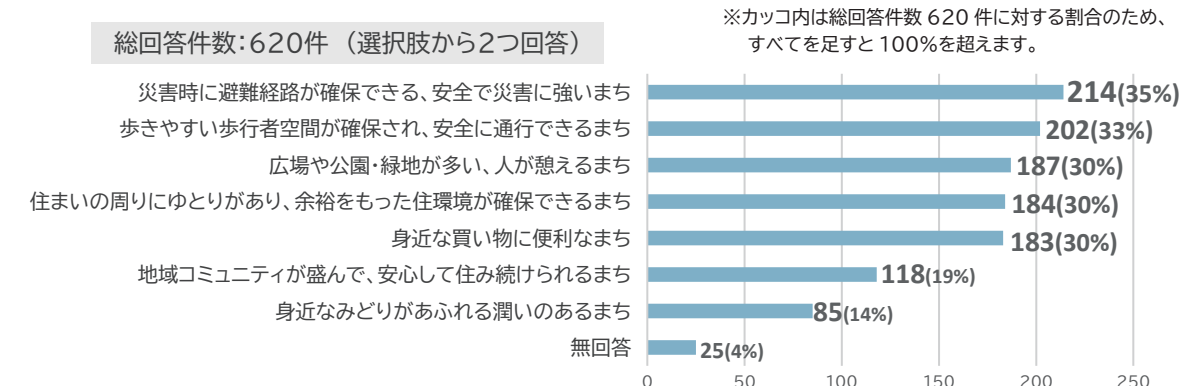
1 富久地区の現状について、どのように感じていますか？



地区の現状について、5段階評価でお答えいただきました。「身近な買い物に便利な地域である」「病院・公共施設等が近くにあり便利である」「大雨の時に水はけがよく、安心できる」等の項目に対して、半数以上の方が「そう思う・まあまあ思う」と回答しており、評価が高くなっています。

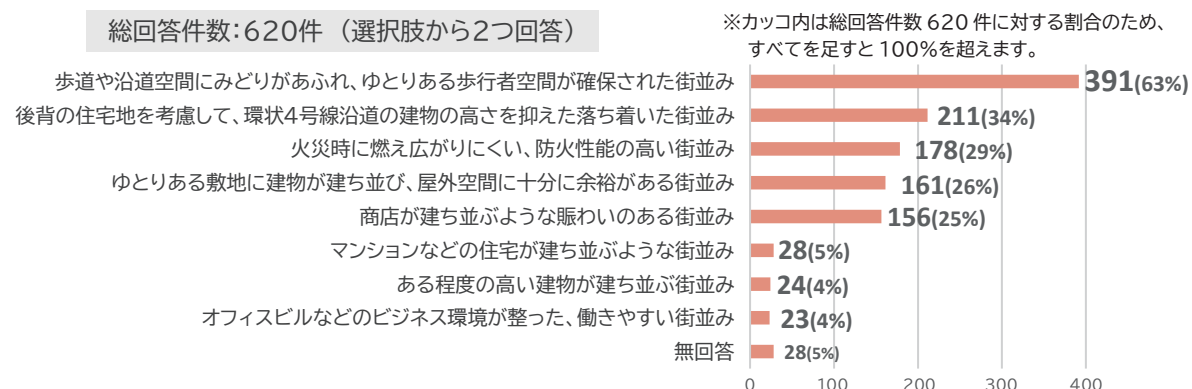
一方、「消防車・救急車などの進入に十分な広さの道路がある」「街並みや景観が美しい」「バリアフリーに配慮され歩きやすい」等の項目に対して、「あまり思わない・思わない」の回答が多く、評価が低いことがわかりました。

2 富久地区を将来どのようなまちにしていきたいですか？



富久地区のまちの将来像として、「災害時に避難経路が確保できる、安全で災害に強いまち」「歩きやすい歩行者空間が確保され、安全に通行できるまち」が重要であると答えた方が多く、ともに総回答件数の3割を超えました。

3 環状4号線沿道での将来望ましい土地利用は何ですか？



環状4号線沿道の将来の土地利用として、「歩道や沿道空間にみどりがあふれ、ゆとりある歩行者空間が確保された街並み」が重要であると答えた方が最も多く、総回答件数の6割を超えました。次いで、「建物の高さを抑えた街並み」や「防火性能の高い街並み」などの回答が多くなっています。

注）掲載しているグラフは、端数処理の関係上、構成比の計が100%とならない場合があります。

自由意見 地区内のまちづくりについていただいたご意見

- 環状4号線により便利になるのは賛成ですが、公園の緑や自然、静かな環境は残していただきたいです。
- 環状4号線で東西が分断されてしまうので、沿道に高い（又は大きすぎる）建物が出来ないでほしい。この地区の良い所は、新宿にありながら、低い住宅のおかげで閉塞感をあまり感じることなく、住民同士で顔が見えることで、安心して住めるところだと思います。
- いつ起こるか分からない災害に備えた街づくりを希望します。
- 環状4号線沿道建物の災害に強い（耐震・耐火構造）建物は良いが、密に建並ぶため、風害が起こらないよう一定間隔で風の抜ける空間が必要と感じます。特に緑地公園、広場（災害時の一時避難場所）等の設置が必要です。

その他 環状4号線の道路整備（東京都施行）に関するご意見への回答

- 環状4号線の整備目的を教えてください。
⇒（都より回答）環状4号線は重要な幹線道路であり、交通の円滑化と安全な通行空間の確保を行う必要があります。加えて、延焼遮断帯や避難路として地域防災性の向上、無電柱化による都市防災機能の強化や都市景観の向上が挙げられます。
- 信号や横断歩道の位置を知りたいです。
⇒（都より回答）東京都建設局HP(トップ > 建設事務所をさがす > 第三建設事務所 > 道路整備 > 現在事業中の箇所)に道路の計画図を掲載しており、信号や横断歩道の位置を示しています。
- 開通後の振動・騒音が心配です。
⇒（都より回答）低騒音舗装等を導入し、振動・騒音の低減に努めます。国土交通省のHPによると、低騒音舗装は、従来舗装に比べ3dB程度の騒音低減効果があります。



道路整備に関する
問い合わせ先（都）

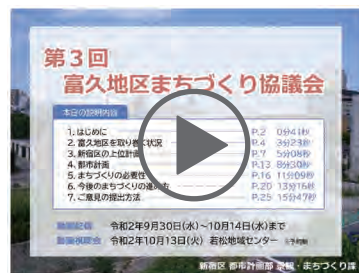
東京都第三建設事務所
工事第一課 設計総括担当
TEL：03-3387-5348

第3回富久地区まちづくり協議会を開催しました

「第3回富久地区まちづくり協議会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、音声付き説明動画を新宿区 YouTube チャンネルにて配信する形で開催しました。なお、ご自宅などに動画視聴環境をお持ちでない方に向けた「動画視聴会」を若松地域センターにて開催しました。

第3回富久地区まちづくり協議会の開催概要

動画配信	公開期間 ■ 令和2年9月30日（水）～10月14日（水） 再生回数 ■ 247回
動画視聴会	開催日時 ■ 令和2年10月13日（火）10時 / 11時 / 14時 会 場 ■ 若松地域センター 第1集会室 来場者数 ■ 10名



▲ 音声付き説明動画



▲ 動画視聴会の様子

説明動画に対していただいた主なご意見

「富久地区まちづくり協議会」の区域には、余丁町も含まれているため、協議会名称を余丁町地区も含めるよう改名すべきではないか。

都市計画公園「富久」は廃止する方向で進めるとあるが、その後の検討状況はどうなっているか。

「まちづくり協議会」とはどういう組織で、まちづくりにどのようにかわるのか また参加資格があるのかなど 詳しい説明が欲しいです。

区からの回答

同様のご意見をいくつかいただき、名称の変更を検討しました。

区は東京都と都市計画公園の廃止について協議を進めています。廃止する「富久公園」の代替機能の確保が求められており、引き続き協議が必要です。

まちづくり協議会は、地域のまちづくりについて検討し、当地区にふさわしいまちづくりを実現することを目的としています。地区内にお住まいの方、地区内の土地建物を所有されている方であればなたでも参加できます。

協議会の名称を変更します

今回実施した協議会やアンケートでの皆様のご意見を踏まえ、協議会の名称を以下の通り変更したいと考えています。ご意見がある方は、令和3年3月15日（月）までに下記問い合わせ先までご連絡ください。

旧 「富久地区まちづくり協議会」

新 「富久・余丁町南地区まちづくり協議会」

問い合わせ先

〒160-8484 新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

新宿区 都市計画部 景観・まちづくり課 担当：櫻井、多久田、竹内、遠藤

TEL: 03-5273-3569（直通） FAX: 03-3209-9227

メールアドレス：keikan@city.shinjuku.lg.jp

このニュースは新宿区が発行するもので、「富久町・余丁町市街地再開発事業準備組合」と関係するものではありません。
また、準備組合が発行する「まちづくり通信」に新宿区は関与していません。